

作業環境測定結果報告書 (証明書)

測定を実施した作業環境測定機関

連絡担当作業環境測定士氏名		登録に係る指定作業場の種類	
		-(2)個人サンプリング法が実施 できる旨の登録の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

測定を委託した事業場等


記

1. 測定を実施した単位作業場所の名称：3号館3103 知能機械創製部門  
2. 測定した物質の名称及び管理濃度：メタノール (E = 200.0 ppm)  
3. 測定年月日 (1日目) 令和7年6月23日 (2日目) -  
4. 測定結果

測定日		1日目	2日目	1日目と2日目の統合	区分
A・C測定結果 [幾何平均値]	<input checked="" type="radio"/> A・C	M <sub>1</sub> = 14.746 (ppm)	M <sub>2</sub> = - ( - )	M = 14.746 (ppm)	区分
B・D測定値	<input checked="" type="radio"/> B・D	22.000 (ppm)			区分

( ) 内には単位 [ ppm・mg/m3・f/cm3・無次元 ] を記入

管理区分 (作業環境管理の状態)	第1管理区分 (適切)
------------------	-------------

【事業場記入欄】

(以下については事業場の責任において記入すること)

作成者職氏名		作成年月日	年 月 日
--------	--	-------	-------

(1) 当該単位作業場所における管理区分等の推移 (過去4回)

測定年月	令和5年5月	令和5年10月	令和6年5月	令和6年10月(前回)
A・C測定結果	<input checked="" type="radio"/> A・C	<input checked="" type="radio"/> A・C	<input checked="" type="radio"/> A・C	<input checked="" type="radio"/> A・C
B・D測定結果	<input checked="" type="radio"/> B・D	<input checked="" type="radio"/> B・D	<input checked="" type="radio"/> B・D	<input checked="" type="radio"/> B・D
管理区分	<input checked="" type="radio"/> 第1 第2 第3	<input checked="" type="radio"/> 第1 第2 第3	<input checked="" type="radio"/> 第1 第2 第3	<input checked="" type="radio"/> 第1 第2 第3

(2) 衛生委員会、安全衛生委員会又はこれに準ずる組織の意見

(3) 産業医又は労働衛生コンサルタントの意見

(4) 作業環境改善処置の内容

# 作業環境測定結果記録表 (B 特定化学物質、鉛、有機溶剤、石綿用)

報告書(証明書)番号 : 33103-06-2505-75

単位作業場所 : 3号館3103 知能機械創製部門

## 1 測定を実施した作業環境測定士

氏名	登録番号	実施項目の別		
近藤良夫	10-339	デザイン	サンプリング	分析
近藤良夫	10-339	デザイン	サンプリング	分析
西脇拓哉	10-435	デザイン	サンプリング	分析
		デザイン	サンプリング	分析
		デザイン	サンプリング	分析

## 2 測定対象物質等

該当単位作業場所において製造し、又は取り扱う物質		種類	名称	製造又は取扱量
		有2	試薬	
当該単位作業場所で行われる業務の概要		チ 有機溶剤等を用いて行う洗浄(フに掲げる業務に該当する洗浄の業務を除く。) )又は払しょくの業務		
測定対象物質の名称		メタノール		
成分指数 の計算数	含有量(%)			
	t の量			
	成分指数	F = -		

## 3 サンプリング実施日時

A測定	日別	実施日	開始時刻:イ	終了時刻:ロ	時間:イ - ロ
	1日目	令和7年6月23日	00時00分	00時00分	0:00
	2日目	-	-	-	-
B測定		令和7年6月23日	00時00分	00時00分	0:00

## 4 単位作業場所等の概要

㉑ 単位作業場所 No.	33103-06	㉓ A測定の測定点の数	1日目	6	2日目	-
㉒ 単位作業場所の広さ	50.0m <sup>2</sup>	㉔ A測定の測定値の数	1日目	6	2日目	-

### ㉕ 単位作業場所について

(1) 有害物の分布の状況(発生源の特定、有害物の拡散状況とその範囲)

実験器具の洗浄作業時に発生し周辺に拡散していると考えられる。

(2) 労働者の作業中の行動範囲

作業場内全体が行動範囲となる。

(3) 単位作業場所の範囲を決定した理由

有害物質の分布状況と作業者の行動範囲とを考慮して、室内全体を単位作業場所とした。

②⑥ 併行測定を行う測定点を決定した理由

\_\_\_\_\_

②⑦ B測定の測定点と測定時刻を決定した理由

(1) 発生源に近接する場所における作業  
間欠作業。実験器具の洗浄作業。

(2) 濃度が最も高くなるとされる作業位置  
実験器具の洗浄作業位置。

(3) 濃度が最も高くなるとされる時間  
実験器具の洗浄作業時。

②⑧ A測定点の数を5点未満に決定した理由

(1) 単位作業場所の広さ

\_\_\_\_\_

(2) 過去における測定の記録

\_\_\_\_\_

②⑧ -(2) A測定点の間隔を6m超に決定した理由

(1) 過去における測定の記録

\_\_\_\_\_

②⑨ 測定に係る監督署長許可の有無

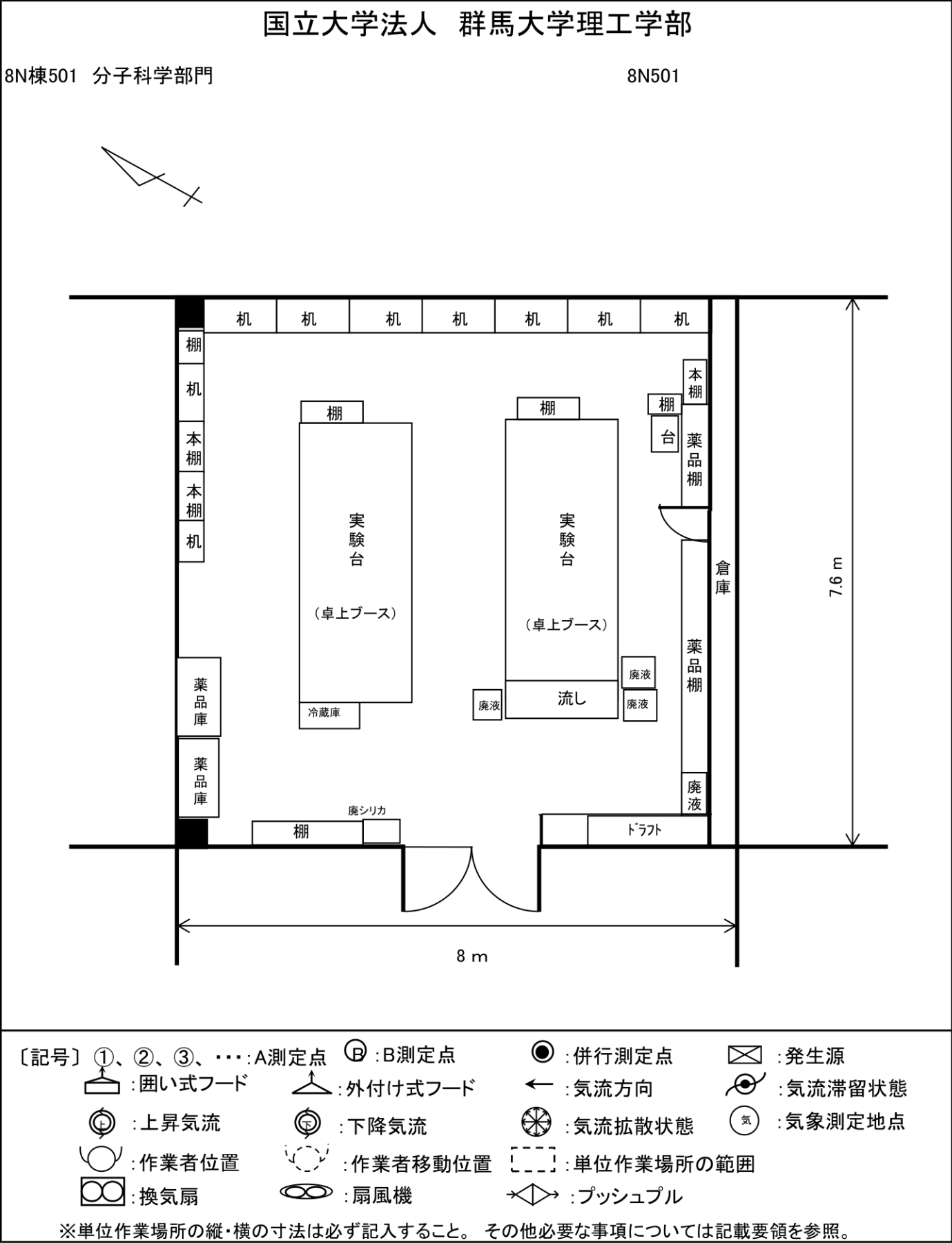
有 (許可年月日 年 月 日 許可番号

)

・

無

5 単位作業場所の範囲、主な設備、発散源、測定点の配置等を示す図面



## 6 測定データの記録 (1日目)

[ A測定データ ]

[ 単位 : ppm ]

③⑩ 測定対象 物質名称	メタノール										-
③⑪ 管理濃度等	$E_{①} = 200.0$		$E_{②} =$		$E_{③} =$		$E_{④} =$		$E_{⑤} =$		$E=1$
③⑭ No.	③⑮ $C_{①}$	③⑯ $\frac{C_{①}}{E_{①}}$	③⑮ $C_{②}$	③⑯ $\frac{C_{②}}{E_{②}}$	③⑮ $C_{③}$	③⑯ $\frac{C_{③}}{E_{③}}$	③⑮ $C_{④}$	③⑯ $\frac{C_{④}}{E_{④}}$	③⑮ $C_{⑤}$	③⑯ $\frac{C_{⑤}}{E_{⑤}}$	③⑰ $\sum_{i=1}^n \frac{C_i}{E_i}$
1	10.0										
2	18.0										
3	17.0										
4	16.0										
5	15.0										
6	14.0										
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											

③⑱	$C_{B1}$	22.0									
	$C_{B2}$										
	$C_{B3}$										

## 7 サンプルング実施時の状況

③⑲ サンプルング実施時に当該単位作業場所で行われていた作業、設備の稼働状況及び測定値に影響を及ぼしたと考えられる事項の概要

[ 作業工程と発生源及び作業者数 ]  
実験器具の洗浄作業。発生源は実験台上の作業位置2箇所。作業者2名。室内に他の作業者なし。

[ 設備、排気装置の稼働状況 ]  
局所排気装置停止。換気扇(天井)稼働。空調稼働。

[ ドア、窓の開閉、気流の状況 ]  
ドア閉。窓閉。

[ 当該単位作業場所の周辺からの影響 ]  
特になし。

[ 各測定点に関する特記事項 ]  
特になし。

天候	晴	温度	0.0	湿度	0.0 %	気流	0.0 ~ 0.0 m/s
----	---	----	-----	----	-------	----	---------------

## 8 試料の採取方法等

④① 試料採取及び方法	直接		
④② 捕集剤、捕集器具名及び形式	テドラーバッグ	④③ 吸引流量	0.5 L/min
④④ 捕集時間	10分間	④⑦ 捕集量	5 L

## 9 分析方法等

④⑧ 分析方法	ガスクロマトグラフィー
④⑨ 使用器具及び形式	ガスクロマトグラフ 島津GC-2014
④⑨-(2) 分析日	令和7年6月23日 ~ ( 1 日間 )

## 10 測定値(換算値)変換係数の決定 (監督署長許可の場合のみ記入)

1日目	⑤① 検知管指示値	ppm	⑤③ 捕集時間	分間
	⑤② 測定値(換算値)		⑤④ 測定値(換算値)変換係数	
2日目	⑤⑤ 検知管指示値	ppm	⑤⑦ 捕集時間	分間
	⑤⑥ 測定値(換算値)		⑤⑧ 測定値(換算値)変換係数	

## 11 測定結果

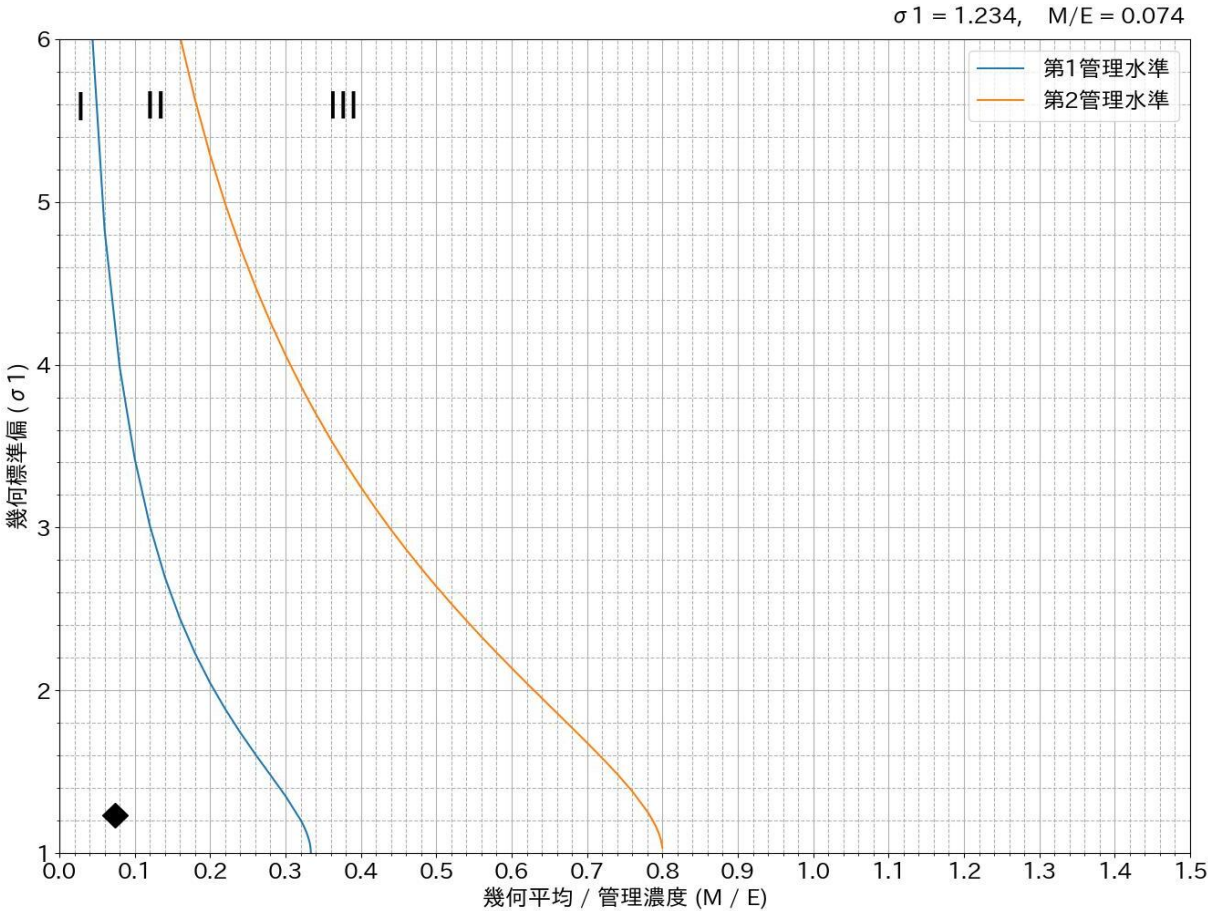
[ 単位 : ppm ]

	区分	1日目	2日目	M 及び
A測定	⑦① 幾何平均値	$M_1 = 14.746$	$M_2 = -$	$M = 14.746$
	⑦② 幾何標準偏差	$\sigma_1 = 1.234$	$\sigma_2 = -$	$\sigma = 2.013$
	⑦③ 第1評価値	$E_{A1} = 46.611$		
	⑦④ 第2評価値	$E_{A2} = 18.834$		
B測定	⑦⑤	$C_B = 22.000$		

## 12 評価

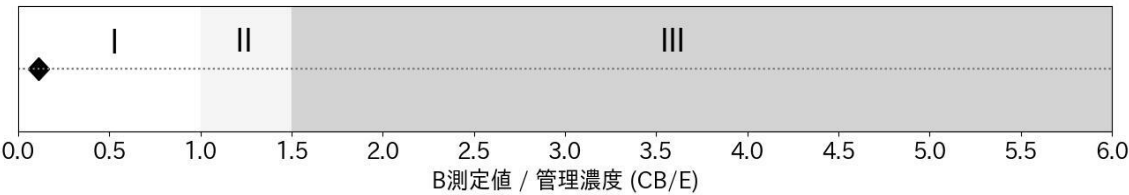
⑦⑨ 評価日	令和7年6月23日			
⑧⑩ 評価箇所	3号館3103 知能機械創製部門			
評価結果	⑧① 管理濃度	$E = 200.0$ [ ppm ]		
	⑧② A測定の結果	$E_{A1} < E$	$E_{A1} \geq E \geq E_{A2}$	$E_{A2} > E$
	⑧③ B測定の結果	$C_B < E$	$E \times 1.5 \geq C_B \geq E$	$C_B > E \times 1.5$
	⑧④ 管理区分	第1	第2	第3
⑧⑤ 評価を実施した者の氏名	西脇拓哉			

A測定による管理区分



B測定による管理区分

$CB/E = 0.110$  ※B測定を行っていない場合には測定値を0とする。



測定対象物質名	管理濃度	A測定結果	B測定結果	管理区分
メタノール	200.0 ppm	区分	区分	第1管理区分 (適切)

コメント